

前文

1 周南地方拠点都市地域の整備の基本理念

近年、国土の均衡ある発展が最重要課題とされる中、多極分散型国土の形成を目指して様々な地方振興策が講じられてきたが、依然として、東京圏への人・物・情報などの一極集中が続いており、地方都市の活力の低下が懸念されている。

特に、山口県は、広島都市圏と福岡都市圏の狭間に位置し、10万都市が散在する分散型の都市分布構造を呈しており、県勢の発展をリードする中核都市が存在せず、その育成が大きな課題となっている。

こうした中、周南地域は、広域市町村圏として市町の枠を越えた広域行政を展開し、地域の総合的な発展を図るとともに、周南地区工業整備特別地域の中心地域として高い工業集積を背景に地域産業の高度化や先端技術産業の導入を進めるなど、個性と魅力ある地域づくりに努めてきた。

こうしたことから、本地域は、日常生活圏はもとより経済圏も一体化し、山口県を代表する産業集積圏として中核的な役割を果たしており、教育、文化、スポーツ等の分野においても都市機能が集積し、今後とも県勢の発展をリードすることが期待されている地域である。

このため本計画は、周南地域が地方拠点都市地域を形成し、拠点地区を中心に高次都市機能の集積を図るとともに、各市町の特性を生かしながら一体的に発展し、「産業と自然の織りなす ときめき交流都市周南」をテーマに、若者が定住し、活躍できる魅力ある中核都市づくりを目指して策定するものである。

2 地方拠点都市地域の概要

(1) 地方拠点都市地域の名称

周南地方拠点都市地域

(2) 中心都市名

徳山市

(3) 地方拠点都市地域の構成

本地域は、徳山市・下松市・光市・新南陽市・大和町・田布施町・熊毛町・鹿野町の4市4町で構成する。

市 町 名	人口(人) (平成7年)	人口増加率(%) (平成2年～平成7年)	面積(km ²) (平成7年)
徳 山 市	108,671	△2.0	339.81
下 松 市	53,471	0.8	89.31
光 市	46,830	△1.6	59.84
新南陽市	32,338	△2.0	64.20
大 和 町	8,578	△2.5	32.09
田 布 施 町	16,203	△2.2	50.35
熊 毛 町	15,646	△0.1	70.50
鹿 野 町	4,907	△2.9	181.88
8 市 町 (4 市 4 町)	286,644	△1.4	887.98

資料) 人口は、平成7年国勢調査による人口(増減率は、平成2年との比較)
面積は、平成7年全国都道府県市区町村別面積調

(4) 位置図

